

高校卒業から大学進学・就職までに何をしたらよいのか

開倫塾 塾長
学校法人有朋学園
有朋高等学院理事長(福島市)
林 明 夫

Q : 高校を卒業してから大学・短期大学・専門学校などの進学先に入学するまで、また、就職先に就職するまでの間に何をしたらよいと考えますか。教えてください。

A : (林明夫：以下省略)

- (1) これは素晴らしい質問だと私は考えます。なぜなら、人生にとって最も大切なこの時期を、卒業前あるいは入学・就職前で忙しいからと、ただ何となく過ごしてしまう方が大半だからです。
- (2) 大学等に進学する方も就職する方も、その直前の数か月をどのように過ごすかで入学後や就職後が決定されることが多いからです。

Q : どういうことですか。具体的に説明して下さい。

A : (1) わかりました。進学・就職に共通することからお話します。

- (2) 進学先の大学等でも就職先の職場でも、IT のスキルは必要不可欠です。大学等でも職場でも、多くの情報はコンピュータにより提供されるからです。また、こちらからの情報提供もコンピュータで行うことが求められることが多いのも現実です。ですから、「ワード」や「エクセル」などコンピュータを用いた情報処理のスキルを一日も早く身に付けることをお勧めします。
- (3) また、英語によるコミュニケーション能力は、高校卒業後に進学するすべての学校と就職するすべての職場で求められます。ですから、高校時代の 3 年分の英語の教科書を総復習し、そのすべてを身に付けることをお勧めします。
- (4) もっと言えば、大学等に進学する方にも就職する方にも、「TOEIC(トイーック)」という実用英語試験の結果がつけに求められます。そこで、一日も早く TOEIC の勉強をスタートすることをお勧めします。
- (5) TOEIC は全 200 問で、5 点刻みのスコア(点数)で評価されるテストです。200 問中の 100 問はリスニング、40 問は高校レベルの基本英文法、60 問は読解の問題が出題されます。基本英文法は高校の教科書と「フォレスト」で十分です。「読んでわからないことは聞いてもわからない」ので、リスニングと読解の対策としては「TOEIC 公式問題集」5 冊のリスニング部門と読解部門の問題を全問、辞書を引きながらいねいに 5 回学習することをお勧めします。また、出題された語句でよく身に付いていないものは「単語帳」や「カード」に書き写して下さい。そして、それらがすべて読めて書けるようになるまで音読練習と書き取り練習をするこ

とで、語彙(ごい)数を飛躍的に増やすことをお勧めします。

リスニング対策にはもう1つあります。1回聴くと1点アップすると考えて、公式問題集のCDを何百回も繰り返して聞き直すことも学習のコツです。

- (6) 大学・短期大学、専門学校に進学した場合は、それらの学校を卒業する1年半前から就職活動をスタートする人が大半です。大学生の就職活動で求められるのは、英語は TOEIC のスコアです。情報処理は「ワード」や「エクセル」のスキルです。就職活動で求められるものがわかっているのですから、高校在籍中にこの2つにできるだけ取り組んでおくことを私はお勧めします。
- (7) ただ、本音を言うと、私は専門科目を勉強すべき大学3年生の秋からの就職活動には反対です。その解禁は4年生の秋からにすべきであると考えます。
- (8) しかし、現実には3年生の秋から就職活動が行われています。そうであるならば、大変かもしれませんが現実を直視して、就職活動で求められる IT のスキルと TOEIC のスコアを進学先が決まった瞬間から身に付けるとよいと考えます。大学等に入学してから初めて IT や TOEIC に取り組むのではなく、入学前にできるだけのことをやっておくと、入学後に大学等での勉強に専念できると私は考えます。就職活動のために3年生になってから IT や TOEIC に挑戦しているようでは、大切な大学の専門科目の勉強がおろそかになってしまいます。
- (9) もっと言えば、中学生や高校生は早めに「英語検定(英検)」の2級か準2級を取得して、中学生や高校生のうちから TOEIC に挑戦することをお勧めします。
- (10) コンピュータの好きな中学生や高校生は、ゲームやメール、iPad などをする時間に「ワード」や「エクセル」の勉強に取り組み、そのスキルを身に付けるとよいと考えます。
- (11) 「エクセル」などを身に付けるときには、数学で学習する「統計・確率」がその基礎となっていることがわかつています。ですから、中学校・高校の数学の学習も大切です。

Q : 開倫塾では、年末から全校舎で「数独(すうどく)」を奨励し始めましたね。なぜですか。

A : IT の基礎となる論理的思考能力を鍛えるためです。「数独」は、皆様が将来身に付けなければならない「エクセル」のスキルアップに直結します。

Q : 最後に一言どうぞ。

A : (1) 英検や TOEIC で英語によるコミュニケーション能力が向上するかといえば、必ず向上します。インドでは近年、小学生から高校生までが月謝2~6ドルで通える、授業のすべてを英語で行う低価格私立学校が急増しています。そこで学ぶ大半の小学生・中学生・高校生は、文科系・理科系に関係なく微分・積分まで出題される入試を経て、授業のすべてが英語で行われる大学や専門学校への進学を希望しています。

(2) 皆様の競争相手、ともに生き抜くインドの仲間は、あまり裕福ではない中で極めて熱心に IT や大学の基礎となる教科をすべて英語で学習し、大学を目指しています。このようなことも考えながら、入学や就職までの時期を大切にお過ごしになることを希望します。

— 2013年1月16日記 —